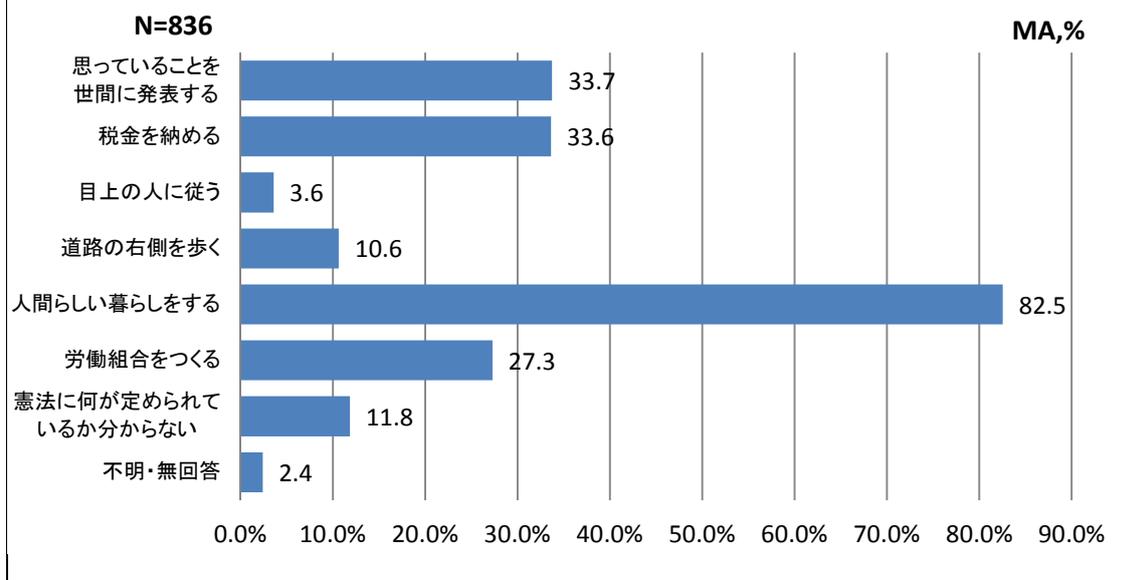


9 憲法に定められた国民の権利

問9 あなたは、憲法によって、義務ではなく、「国民の権利」と定められているのはどれだと思いますか。(〇はいくつでも)

[図9-1 憲法に定められた国民の権利]



最も多いのが「人間らしい暮らしをする」で、82.5%、ついで「思っていることを世間に発表する」(33.7%)、「税金を納める」(33.6%)で、「労働組合をつくる」は27.3%となっている。そして、「憲法に何が定められているのかわからない」は11.8%である。

これらのうち憲法に国民の権利として定められているのは、「人間らしい暮らしをする」(第25条 生存権)、「思っていることを世間に発表する」(第21条 表現の自由)、「労働組合をつくる」(第28条 勤労者の団結権)であるが、「人間らしい暮らしをする」が8割ほどあるものの、「思っていることを世間に発表する」と「労働組合をつくる」は3割前後しかない。自分がどんな権利をもっているのか、知らなければ、自分の権利を守ることもできないし、自分の周りの人たちがどのような権利をもっているのか、知らなければ、他者の権利を侵害しないということもできない。その意味では、図9-1にみられる憲法の国民の権利に対する理解は決して高いとはいえない。

[表9 - 1 憲法に定められた国民の権利 (性・年齢別)]

(上段:人、下段:%)

		回答者数	るを思っ 世間に 発表す こと	税金を 納める	目上 の人に 従う	く道 路の 右側 を歩	し人 を間 らしい 暮ら す	る労 働組 合を つく	か ら憲 法に 何が 定め ら れ て い る の か わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
総数		836 100.0	282 33.7	281 33.6	30 3.6	89 10.6	690 82.5	228 27.3	99 11.8	20 2.4
性別	男性	343 100.0	138 40.2	110 32.1	12 3.5	31 9.0	294 85.7	110 32.1	27 7.9	7 2.0
	女性	457 100.0	134 29.3	159 34.8	18 3.9	54 11.8	373 81.6	108 23.6	66 14.4	8 1.8
年齢別	29歳以下	70 100.0	33 47.1	17 24.3	3 4.3	5 7.1	53 75.7	21 30.0	11 15.7	— —
	30歳代	87 100.0	30 34.5	20 23.0	2 2.3	3 3.4	64 73.6	29 33.3	14 16.1	2 2.3
	40歳代	112 100.0	41 36.6	34 30.4	6 5.4	2 1.8	100 89.3	24 21.4	5 4.5	1 0.9
	50歳代	148 100.0	47 31.8	40 27.0	1 0.7	7 4.7	129 87.2	40 27.0	12 8.1	1 0.7
	60歳代	191 100.0	68 35.6	70 36.6	4 2.1	23 12.0	159 83.2	54 28.3	25 13.1	3 1.6
	70歳以上	213 100.0	61 28.6	96 45.1	14 6.6	48 22.5	176 82.6	58 27.2	29 13.6	9 4.2

性別でみると、「思っていることを世間に発表する」の割合は、女性のほうが 10.9 ポイント低く、「労働組合をつくる」についても女性のほうが 8.5 ポイント低い。そして、「憲法に何が定められているのかわからない」の割合は、女性のほうが 6.5 ポイント高い。このように、憲法の国民の権利に対する理解は、女性のほうが低いといえる。

年齢別でみると、年齢が若くなるほど憲法の権利理解が高くなっているのは「思っていることを世間に発表する」だけで、「人間らしい暮らしをする」の割合は 40 歳代で最も高く、「労働組合をつくる」の割合は 30 歳代で最も高い。また、29 歳以下と 30 歳代では「憲法に何が定められているのかわからない」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

[表9 - 2 憲法に定められた国民の権利 (NHK 調査との比較) (別紙)]

(単位: %)

	米原市	全国
思っていることを世間に発表する	33.7	36.4
税金を納める	33.6	46.8
目上の人に従う	3.6	8.0
道路の右側を歩く	10.6	14.8
人間らしい暮らしをする	82.5	77.9
労働組合をつくる	27.3	21.7
憲法に何が定められているか分からない	11.8	3.9
不明・無回答	2.4	

NHK放送文化研究所「日本人の意識調査」2013年

2013年に実施されたNHK放送文化研究所の「日本人の意識調査」と比較すると、全国に比べて「思っていることを世間に発表する」の割合はやや低いものの、「人間らしい暮らしをする」と「労働組合をつくる」の割合はやや高くなっている。そして、誤答である「税金を納める」「目上の人に従う」「道路の右側を歩く」の割合は、それぞれ全国よりも低くなっている。